

柏市地域健康福祉アンケート調査報告書

<中高生>

2024年3月

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. 回収結果	1
6. 調査結果を見る上での注意事項	1
7. 調査結果の要約	2
II 回答者属性	4
1. 性別	4
2. 学年	4
3. 居住地	5
4. 興味・関心事項	6
5. 普段から重視しているコミュニティ	6
6. 新たにつながりたいコミュニティ	8
III 地域との関わりについて	9
1. 普段から重視しているコミュニティ	9
2. 今後の近所の方との付き合い方	11
3. 地域の支え合いや関わりの必要性	12
4. 近所の支援が必要な人の有無	13
IV 地域防災について	14
1. 災害発生時に支援が必要そうな人の有無	14
2. 災害時に地域で助け合うために必要だと思う取り組み	15
V ボランティア活動について	17
1. ボランティア活動への参加経験	17
2. 参加したことがあるボランティア活動	18
3. ボランティア活動に関する情報源	19
4. ボランティア活動に参加したことがない理由	20
VI 居場所や相談場所について	22
1. 悩んだ時の相談先	22
2. 過去・現在における悩み	24
VII 相互理解・共生について	26
1. 将来の柏市での居住意向	26
2. 安心して生活するために重要だと思うもの	27

VIII	安心して生活するために重要だと思うもの（自由記述）	28
1.	自由記述の設問・回答数	28
2.	分析方法	28
3.	基礎分析（頻出ワード抽出）	28
IX	アンケート調査票	32

I 調査の概要

1. 調査の目的

柏市第5期地域健康福祉計画の推進にあたり、次世代を担う中学生・高校生が何を地域として考え、現状で地域活動にどのように関わっているのか、意識・行動などの把握をすることを目的とする。

2. 調査対象

柏市内の中学校・高等学校のうち、以下の12校に協力を依頼し実施した。

■中学校：柏第二中学校、光ヶ丘中学校、柏第五中学校、酒井根中学校、西原中学校、松葉中学校、大津ヶ丘中学校、高柳中学校

■高等学校：柏市立柏高等学校、千葉県立沼南高柳高等学校、日本体育大学柏高等学校、芝浦工業大学柏中学高等学校

3. 調査期間

令和5年12月1日～12月25日

4. 調査方法

各学校にWeb (LoGo フォーム) の二次元バーコード及びURLを送付し、生徒のWeb 端末から個々に回答。

- (1) 地域との関わりについて
- (2) 地域防災について
- (3) ボランティア活動（地域福祉活動）について
- (4) 居場所や相談場所について
- (5) 相互理解・共生について

5. 回収結果

有効回答数
4, 667件

6. 調査結果を見る上での注意事項

- 表・グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数（調査数）を示している。
- 回答は各質問の回答者数（N）を基盤とした百分率（%）で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- 1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問（複数回答）の場合、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。

- クロス集計の場合は、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。

7. 調査結果の要約

【回答者の属性】

- 学生の内訳は、中学生が6割程度、高校生が4割弱となっている。学年別でみると、中学生の男女比率はほぼ同程度だが、高校生は男性が5割半、女性が4割と、男性の方がやや高くなっている。
- 居住地については、中学生は市内の公立中学校生を対象としていることもあり、ほぼ市内在住であったが、高校生は市内在住者が4割弱で、6割程度は市外在住者であった。市外在住者の居住地としては、松戸市が最も多く、次いで流山市、船橋市であった。
- 普段から重視しているコミュニティ（人とのつながり）としては、「学校」と「家族・家庭」が突出して多く、いずれも9割前後となっている。今後つながりたいと思うコミュニティについては、「特になし」が約4割で、それ以外のものはいずれもごく少数であり、「学校外のクラブ活動・習い事・趣味の活動」は1割程度であった。

【地域との関わりについて】

- 普段の地域住民との付き合いの程度は、「あいさつ程度がほとんど」が最も多く、5割強を占めており、次いで「会えば親しく話をする人がいる」が2割程度となっている。今後の付き合い方に対しては、「会えば親しく話をする関係」が「あいさつ程度の関係」と同程度である4割弱となっていることから、現状より1つ踏み込んだ関係を期待しているかたが一定数いることがうかがえる。
- 普段の暮らしの中で地域の支え合いや関わりあいが必要かについては、「必要だと思う」が最も多く7割以上を占める一方、「必要だと思わない」は1割にも満たない結果であった。地域の支え合いや関わりの必要性については、令和3年度の調査時と比べて、「必要だと思う」が17.4ポイント増加している。

【地域防災について】

- 災害発生時に避難支援が必要そうな近隣住民の有無については、「高齢者」が最も多く5割弱で、その他の項目（乳幼児・身体障害者・いない等）はいずれも1～2割となっている。また、いるかないか「わからない」という回答は3割であった。
- 災害時に地域で助け合うために必要だと思う取組としては、「住んでいる地域ごとの防災訓練」と「災害時の行動に関する学校での学びの機会」が3割以上と高い割合を示している。

【ボランティア活動について】

- ボランティア活動の参加経験については、「参加したことがある」が3割程度で、その活動内

容は「ゴミ拾いや地域清掃等、環境保全関係の活動」が6割と突出して高くなっている。中学生と高校生の活動内容で比べると、「環境保全関係の活動」は高校生より中学生のほうが高く、「福祉施設での活動」については、中学生より高校生のほうが高くなっている。

- ボランティア活動に参加した方が活動を知ったきっかけは、「家族・友人」からが5割、「学校」からが3割、「地域の掲示板など」が2割となっている。学年別に見ると、「学校」から知ったと回答したのは、中学生よりも高校生の方が15.8ポイント高く、一方で「家族・友人」から知ったと回答したのは、中学生の方が高校生よりも20.3ポイント高くなっている。
- 参加したことがない理由は、「きっかけがない」、「時間がない」や「知らない」など、“参加したい（してもいい）と思っているが事情により参加できない”という意見が、参加したことがない方の6割以上を占めている。一方で、「興味・関心がない」「参加する理由がない」「面倒な気がする」などを理由とする意見は、3割程度となっている。

【居場所や相談場所について】

- 悩んだ時の相談先としては、普段から重視しているコミュニティと同じく「学校の友人」と「家族・家庭」が突出して多く、いずれも7割程度であった。学年別では、中学生よりも高校生のほうが「学校以外の友人」をあげる割合が高く、一方で、中学生の方が高校生よりも「学校の先生」をあげる割合が高くなっている。
- 過去・現在の悩みについては、「勉強・学力・受験のこと」が最も多く、半数の人が挙げています。次いで「将来のこと」が4割弱、「学校の友人（同学年）との関係」が2割程度となっている。悩みの種類を性別で見ると、「学校の友人（同学年）」、「学校の友人との関係」、「勉強・学力・受験のこと」「外見のこと」といった項目で、女性の方が男性よりも10ポイント以上高くなっている。

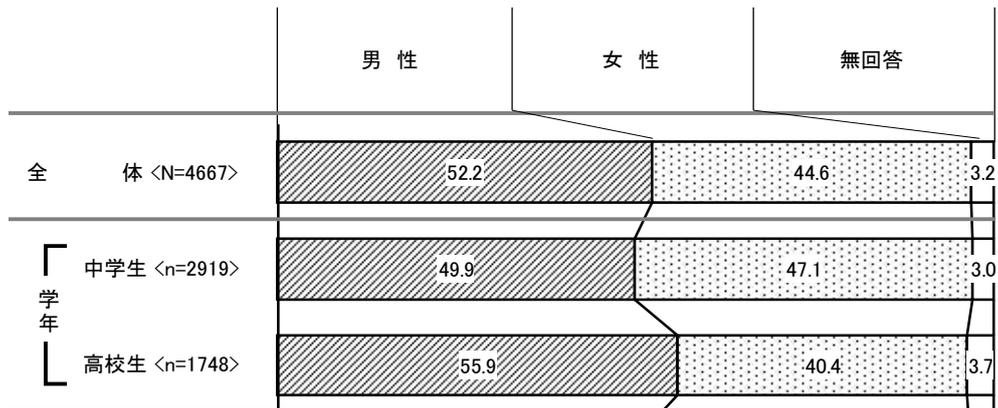
【相互理解・共生について】

- 将来柏市に住みたいかについては、「今の時点ではわからない」といする意見が多く、半数以上を占めている。「将来柏市に住みたい・住み続けたい」と「柏市を離れても、いずれは柏市に住みたい」を足した“将来柏市に住みたい”という割合は2割半と、全体の4分の1程度であった。
- 安心して生活するために重要だと思うものは、「いろいろな人が交流できる場所をつくる」が6割弱と最も多く、次いで「災害時にも助け合える仕組みをつくる」が5割弱となっている。

Ⅱ 回答者属性

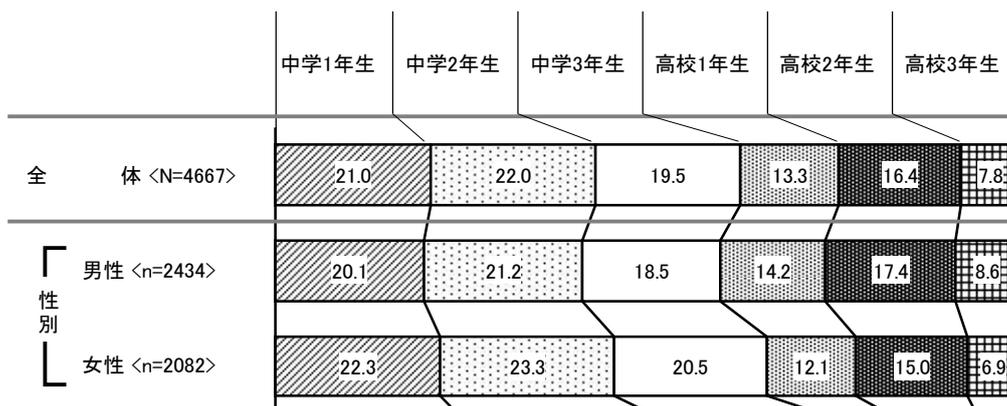
1. 性別

- 男性が 52.2%、女性が 44.6%であった。
- 学年別では「中学生」の男女比はほぼ同数だが、「高校生」は男性が 55.9%、女性が 40.4%と男性がやや多い。



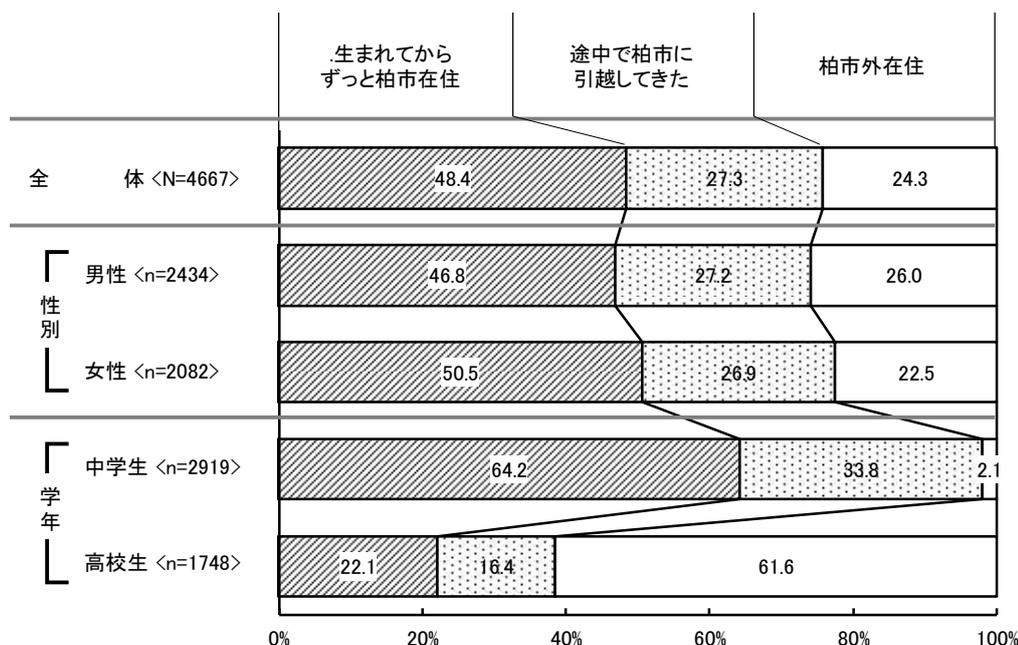
2. 学年

- 回答者全体の学年の内訳は、中学生が 62.5%、高校生が 37.5%であった。
- 中学1年生から中学3年生までが各学年 20.0%前後で、高校1年生と高校2年生がそれぞれ 15.0%前後、高校3年生は 7.8%であった。
- 属性別にみると、男女別では全体とほぼ同じ分布である。



3. 居住地

- 回答者の居住地は、「生まれてからずっと柏市在住」という人が最も多い（48.4%）。
- 柏市在住者は、中学生の98.0%、高校生38.5%であった。
- 学年別では、中学生は「生まれてからずっと柏市在住」（64.2%）が最も多く、高校生は「柏市外在住」（61.6%）が最も多く、それぞれ6割を超えている。
- 高校生の市外在住者の居住地としては、松戸市が最も多く、次いで流山市、船橋市であった。



<高校生の市外の人数内訳>

市区町村名	人	市区町村名	人
松戸市	238	八千代市	15
流山市	152	茨城県守谷市	12
船橋市	112	東京都葛飾区	12
野田市	104	浦安市	11
鎌ヶ谷市	90	茨城県取手市	11
我孫子市	73	習志野市	11
白井市	34	埼玉県三郷市	10
市川市	28	つくばみらい市	10
印西市	25	東京都足立区	9
千葉市	18	船橋市	8

その他の地域(各地域5人未満)
東京都足立区、船橋市、さいたま市、つくば市、茨城県常総市、東京都江戸川区、茨城県龍ヶ崎市、茨城県牛久市、埼玉県越谷市、埼玉県春日部市、茨城県利根町、茨城県土浦市、埼玉県八潮市、成田市、茨城県坂東市、佐倉市、埼玉、吉川市、埼玉県草加市、東京都、東京都荒川区、東京都文京区、富里市、流山市、茨城県稲敷市、栄町、久喜市、東京都江東区、埼玉県久喜市、埼玉県蕨市、四街道市、市原市、東京都渋谷区、習志野市、東京都北区、東京都墨田区

4. 興味・関心事項

問) あなたが今、興味・関心があることは何ですか。(自由記述)

- 最も多かった項目は「スポーツ(サッカー、野球、バレー、バスケットボール、卓球、テニス等)の実施または観戦」(1,176人)が最も多く、次いで「アニメ・漫画・ゲーム」(832人)、「音楽・歌・ダンス・演奏」(460人)であった。
- その他の項目としては、「lgbtq+」、「DV」、「貧困」、「子どもたちへの支援」など人権・権利に関する意見もあった。

順位	項目	人数	順位	項目	人数
1	スポーツ	1,176	11	読書	147
2	アニメ・漫画・ゲーム	832	12	部活	143
3	音楽・歌・ダンス・演奏	460	13	食・料理	116
4	進路・将来こと	351	14	生物・物理・	105
5	文化芸術・創作活動	269	15	情報・テクノロジー・プログラミング	88
6	テレビ・YouTube・SNS・インターネット	197	16	鉄道・車・写真	70
7	勉強	185	17	留学・語学	60
8	美容・ファッション	170	18	友達・遊ぶこと	59
9	タレント・アイドル・ミュージシャン・芸人	168	19	その他	227
10	社会・政治・経済・環境	152	20	無し	499

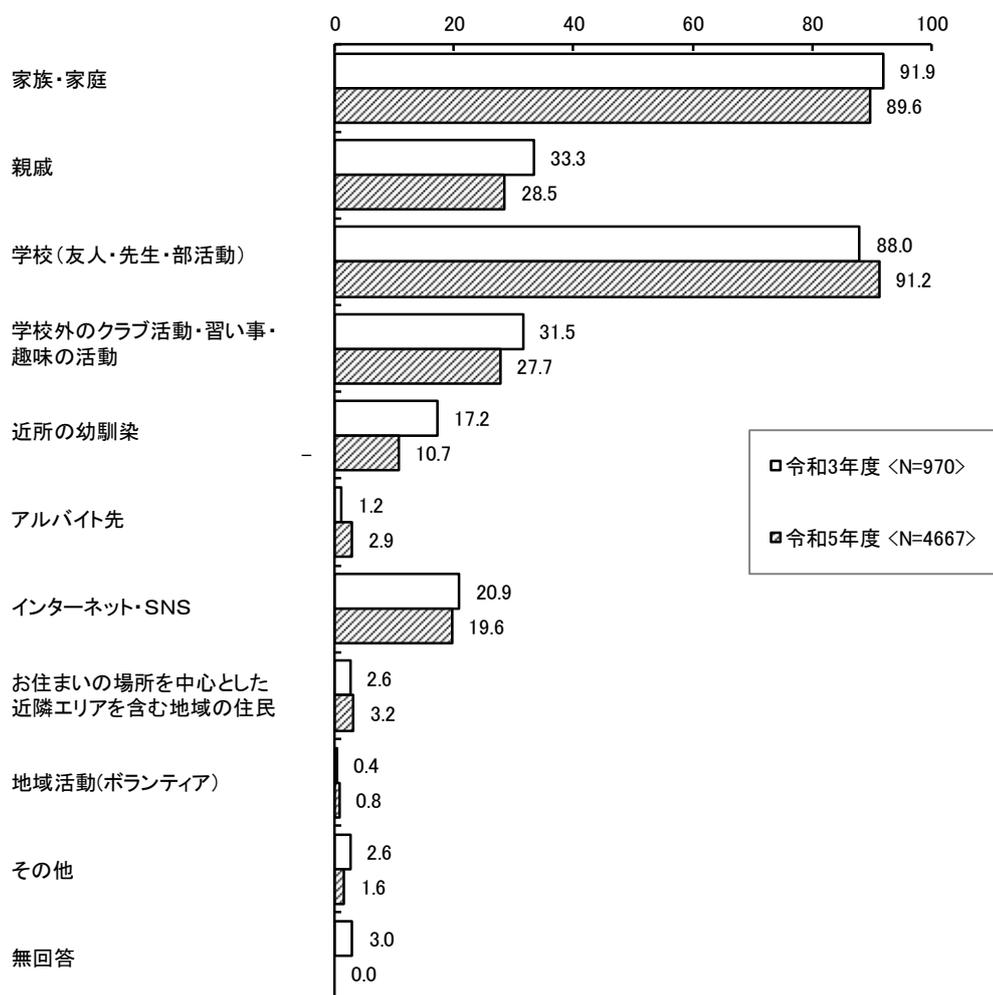
※1人で複数の項目を記載している場合も、全てカテゴリー別に集計している。

5. 普段から重視しているコミュニティ

問) あなたが普段から重視しているコミュニティ(人とのつながりなど)は何ですか。
(上位3つ選択)

- 人とのつながりなど、普段から重視しているコミュニティは何かを聞くと、「学校」(91.2%)、「家族・家庭」(89.6%)の2項目が突出して多く、それぞれ9割前後とほとんどの回答者があげている。
- 同設問を前回調査(令和3年度)の結果と比較すると、今回割合が高かった「学校」および「家族・家庭」は前回も同様に高く、それぞれ9割前後であった。その他の項目の割合にも大きな変動はみられなかった。
- 属性別にみると、「学校外のクラブ活動・習い事・趣味の活動」において、「中学生」の方が「高校生」よりも16ポイント程度割合が高い(33.8%>17.6%)。
- 上記と同様の傾向が「柏市」と「柏市外」についてもいえるが、それぞれの居住地に占める中高生の分布が偏っていることが影響していると思われる。

【全体／前回調査（令和3年度）との比較】



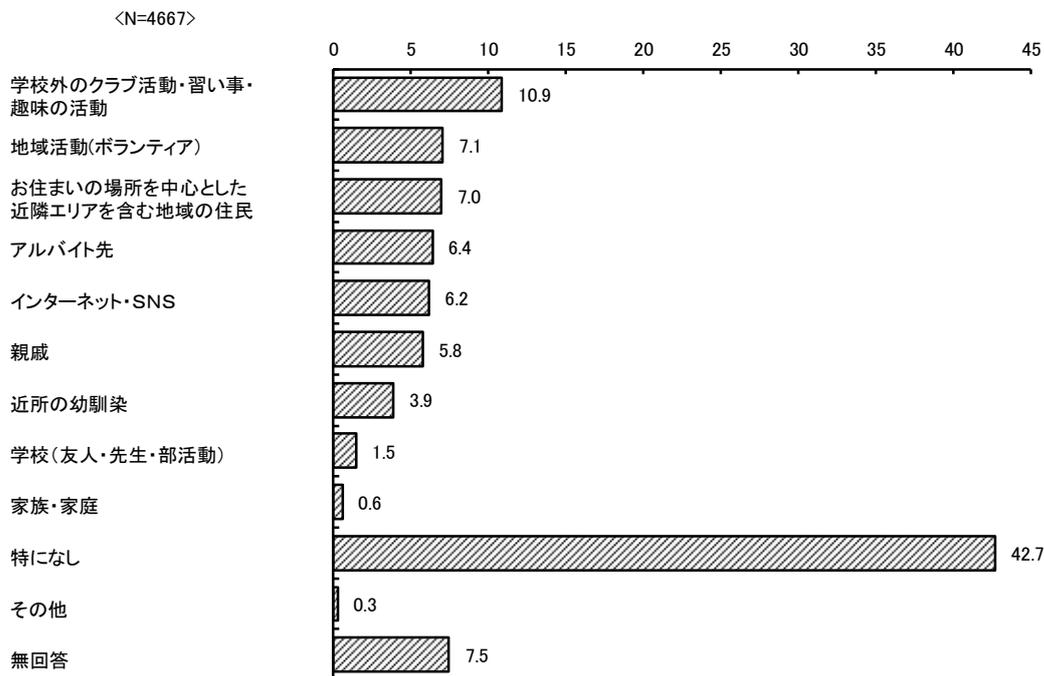
【属性別】

		サンプル数										
			家族・家庭	親戚	学校(友人・先生・部活動)	学校外のクラブ活動・習い事・趣味の活動	近所の幼馴染	アルバイト先	インターネット/SNS	お住まいの場所を中心とした近隣エリアを含む地域の住民	地域活動(ボランティア)	その他
全 体		4667	4182	1331	4254	1294	501	135	913	148	36	76
		100.0	89.6	28.5	91.2	27.7	10.7	2.9	19.6	3.2	0.8	1.6
性別	男性	2434	2187	698	2223	686	246	56	443	81	20	32
		100.0	89.9	28.7	91.3	28.2	10.1	2.3	18.2	3.3	0.8	1.3
	女性	2082	1875	599	1918	568	240	74	413	64	12	37
		100.0	90.1	28.8	92.1	27.3	11.5	3.6	19.8	3.1	0.6	1.8
学年	中学生	2919	2639	881	2695	986	235	4	537	99	20	36
		100.0	90.4	30.2	92.3	33.8	8.1	0.1	18.4	3.4	0.7	1.2
	高校生	1748	1543	450	1559	308	266	131	376	49	16	40
		100.0	88.3	25.7	89.2	17.6	15.2	7.5	21.5	2.8	0.9	2.3
住まい	柏市	3531	3190	1040	3234	1071	330	67	680	121	27	54
		100.0	90.3	29.5	91.6	30.3	9.3	1.9	19.3	3.4	0.8	1.5
	柏市外	1136	992	291	1020	223	171	68	233	27	9	22
		100.0	87.3	25.6	89.8	19.6	15.1	6.0	20.5	2.4	0.8	1.9

6. 新たにつながりたいコミュニティ

問) 普段から重視しているコミュニティ以外で、今後新たにつながりたいと思うコミュニティは何ですか？

- 前問にて回答した項目以外で、今後つながりたいと思うコミュニティについて聞くと、「特になし」(42.7%)という回答が最も多かった。それ以外では「学校外のクラブ活動・習い事・趣味の活動」(10.9%)であり、その他の項目はごく少数である。
- 属性別でもほとんどの割合が少数となるが、「高校生」の「アルバイト先」が10.0%とやや高かった。



【属性別】

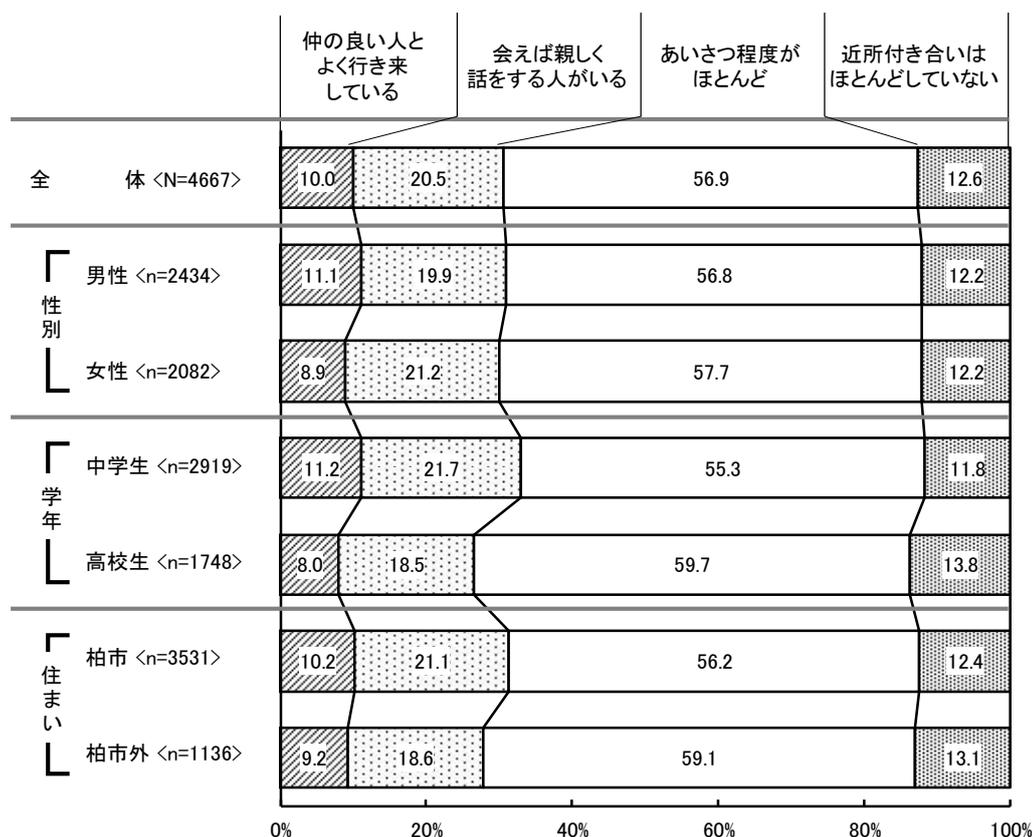
		サンプル数	コミュニティ									
			家族・家庭	親戚	学校(友人・先生・部活動)	学校外のクラブ活動・習い事・趣味の活動	近所の幼馴染	アルバイト先	インターネット/SNS	お住まいの場所を中心とした近隣エリアを含む地域の住民	地域活動(ボランティア)	その他
全体		4667	4182	1331	4254	1294	501	135	913	148	36	76
		100.0	89.6	28.5	91.2	27.7	10.7	2.9	19.6	3.2	0.8	1.6
性別	男性	2434	2187	698	2223	686	246	56	443	81	20	32
		100.0	89.9	28.7	91.3	28.2	10.1	2.3	18.2	3.3	0.8	1.3
	女性	2082	1875	599	1918	568	240	74	413	64	12	37
		100.0	90.1	28.8	92.1	27.3	11.5	3.6	19.8	3.1	0.6	1.8
学年	中学生	2919	2639	881	2695	986	235	4	537	99	20	36
		100.0	90.4	30.2	92.3	33.8	8.1	0.1	18.4	3.4	0.7	1.2
	高校生	1748	1543	450	1559	308	266	131	376	49	16	40
		100.0	88.3	25.7	89.2	17.6	15.2	7.5	21.5	2.8	0.9	2.3
住まい	柏市	3531	3190	1040	3234	1071	330	67	680	121	27	54
		100.0	90.3	29.5	91.6	30.3	9.3	1.9	19.3	3.4	0.8	1.5
	柏市外	1136	992	291	1020	223	171	68	233	27	9	22
		100.0	87.3	25.6	89.8	19.6	15.1	6.0	20.5	2.4	0.8	1.9

Ⅲ 地域との関わりについて

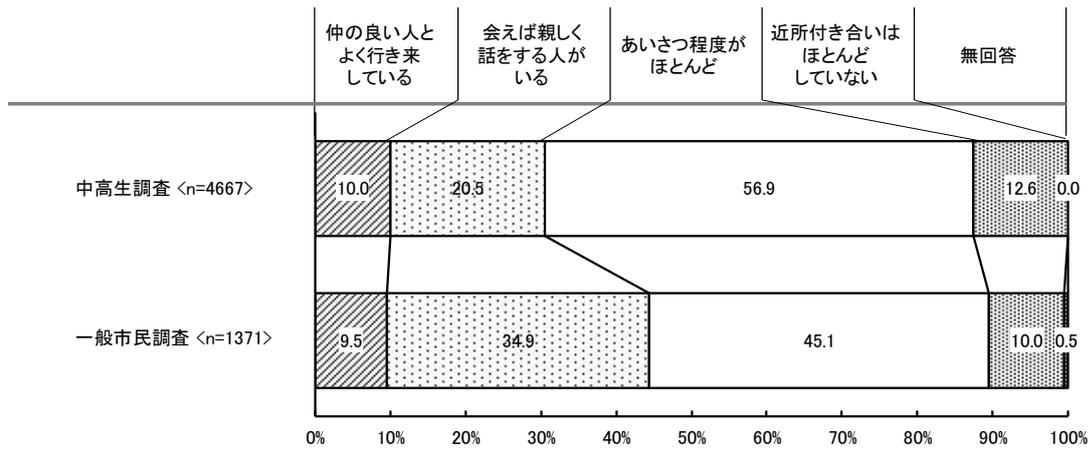
1. 普段から重視しているコミュニティ

問) あなたは、普段は近所の方とどのような付き合い方をしていますか。

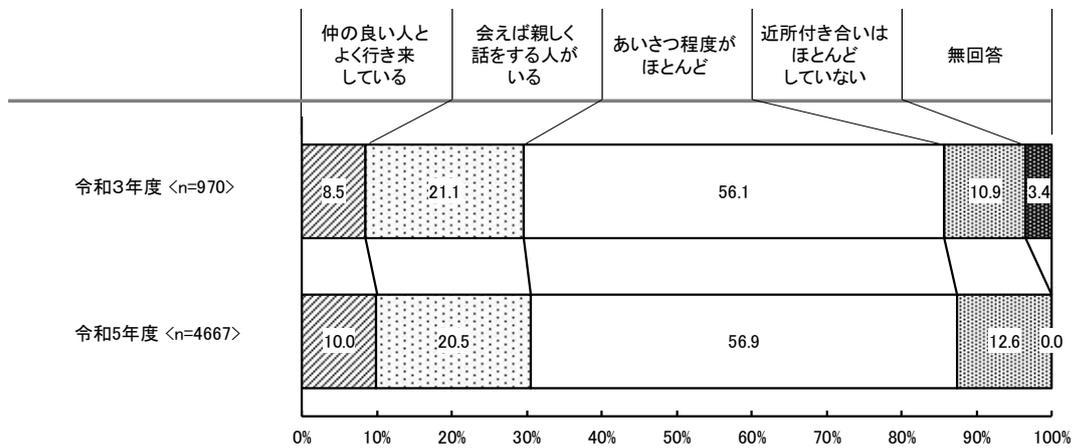
- 地域との関わりについて、普段近所の方とどの程度付き合っているかを聞くと、「あいさつ程度がほとんど」(56.9%)という声が多く、半数以上を占めている。
- 属性別では目立った差の傾向はみられない。
- 本調査と同時期に行われた一般市民対象のアンケート調査と比較してみると、「仲の良い人とよく行き来している」割合はほぼ同様の割合で少数であるが、「会えば親しく話をする人がいる」割合が一般市民調査の方が高い(20.5%>34.9%)。
- 同設問を前回調査の結果(令和3年度)と比較すると、回答の分布はほぼ同様の傾向を示しており、「あいさつ程度がほとんど」という人が多数である。



【市民調査との比較】



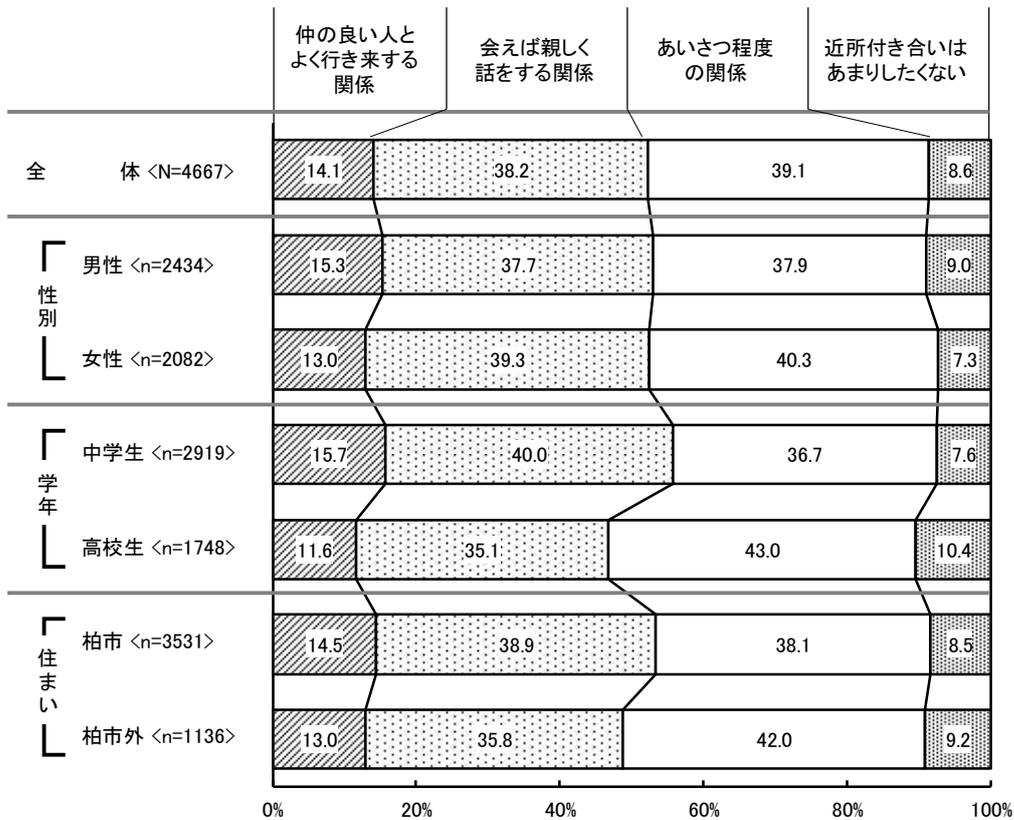
【前回調査との比較】



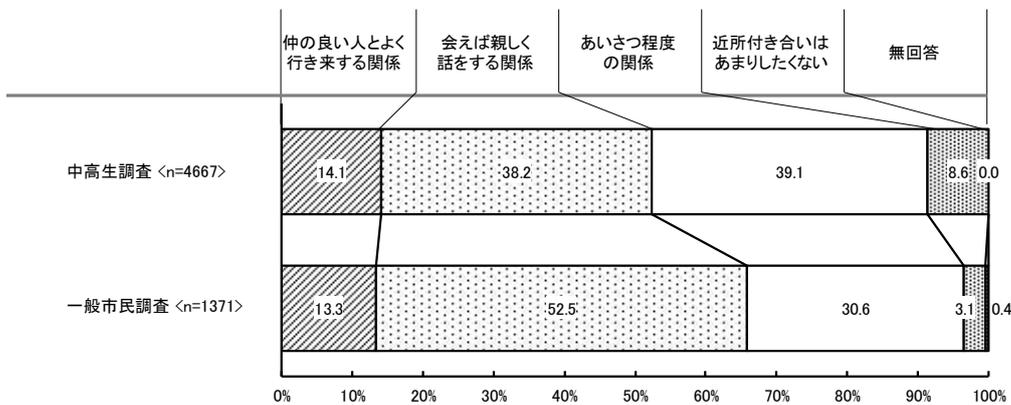
2. 今後の近所の方との付き合い方

問) 今後、近所の方とどのような近所付き合いをしたいですか。

- 今後、どのような近所付き合いをしていきたいかについては、「会えば親しく話をする関係」(38.2%)、および「あいさつ程度の関係」(39.1%)という声が多数を占め、「仲の良い人とよく行き来する関係」(14.1%)は少数である。
- 属性別では、「高校生」において「仲の良い人とよく行き来する関係」「会えば親しく話をする関係」がそれぞれ4~5ポイント程度「中学生」よりも低くなっている。
- 一般市民調査と比較してみると、「会えば親しく話をする関係」の割合が一般市民調査の方が15ポイント近く高くなっている(38.2%<52.5%)。



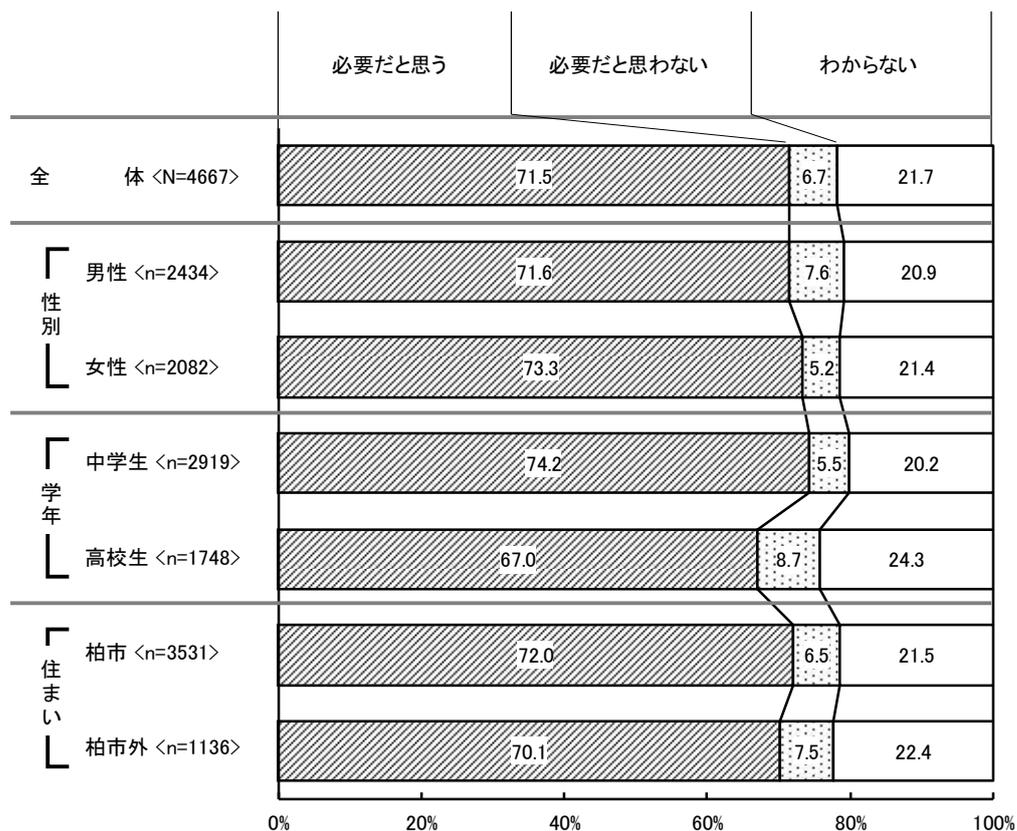
【市民調査との比較】



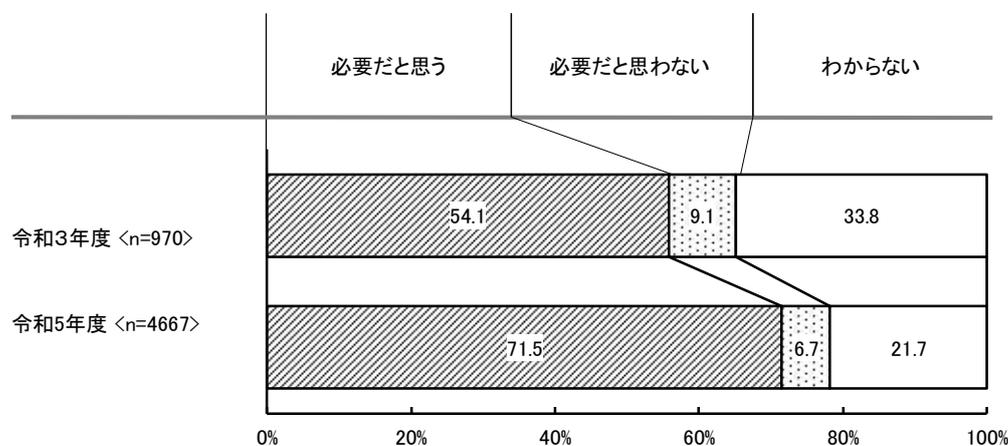
3. 地域の支え合いや関わりの必要性

問) あなたは普段の暮らしの中で、地域の支えあいや関わりが必要だと思いますか。

- 地域の支え合いや関わりが必要かどうかについて聞くと、「必要だと思う」の割合が71.5%と多数を占める。一方「必要だと思わない」という人はわずか6.7%。
- 属性別では、「高校生」において「必要だと思う」割合が7割を切っている(67.0%)。
- 前回調査結果との比較では、「必要だと思う」割合が17.4ポイント増加している(54.1%<71.5%)が、前回は「わからない」の割合が多いことも影響している。



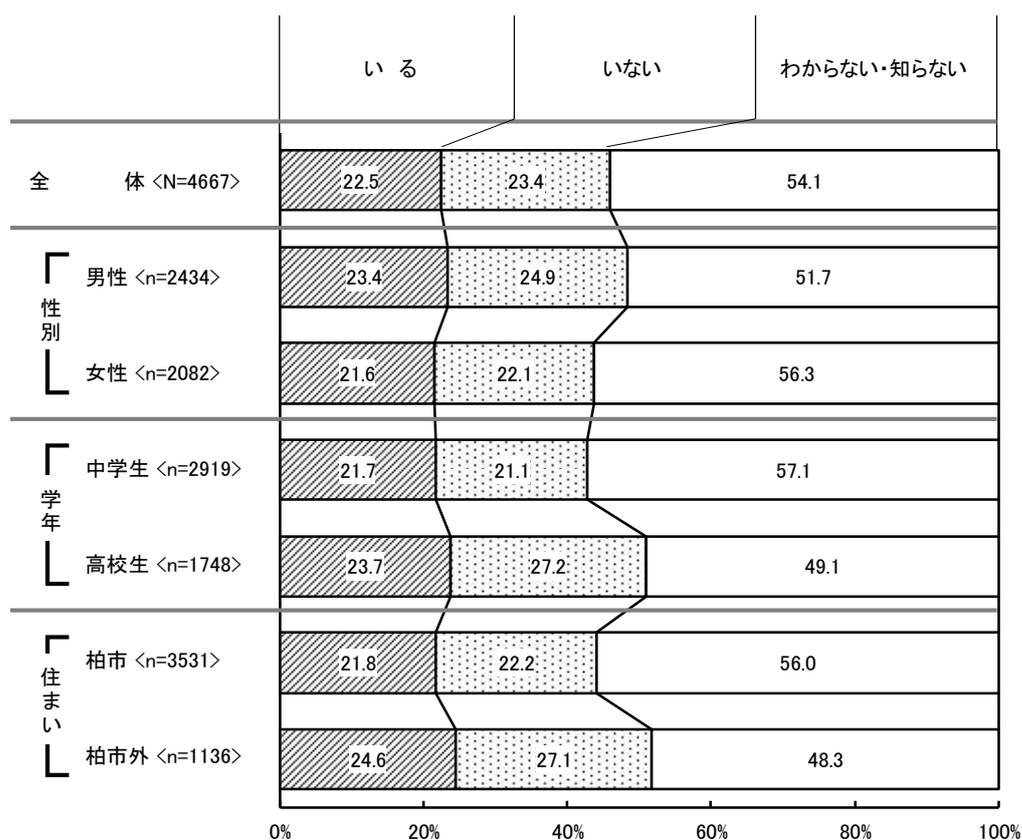
【前回調査結果との比較】



4. 近所の支援が必要な人の有無

問) あなたの近所に高齢者や障害、病気などで生活の困りごとを抱え、日常的な支援が必要な人はいますか。

- 近所に日常的に支援が必要な人がいるかどうかを聞いたところ、「いる」(22.5%)と「いない」(23.4%)と意見が二分し、「わからない・知らない」という人が半数以上(54.1%)。
- 学年別にみると、「いない」と回答した割合が「高校生」(27.2%)の方が「中学生」(21.1%)より6ポイント程度高くなっている。



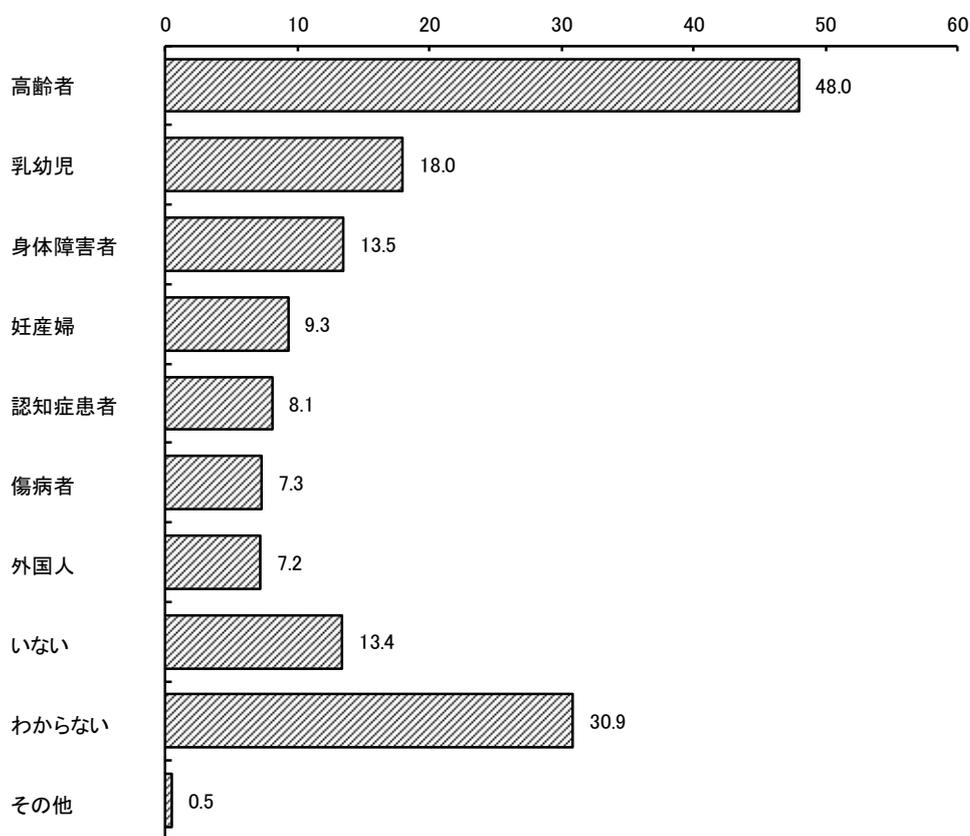
IV 地域防災について

1. 災害発生時に支援が必要そうな人の有無

問) 災害が発生した際に一人で避難が難しい人として、あなたの近所に次のような気に掛かる人（支援が必要そうな人）はいますか。（複数回答）

- 災害発生時に近所に支援が必要そうな人がいるかどうかについて聞くと、「高齢者」という回答が最も多くあげられている（48.0%）。また「わからない」という声も3割程度あった（30.9%）。「いない」という回答は13.4%。
- 属性別ではあまり大きな差はみられない。

<N=4667>



【属性別】

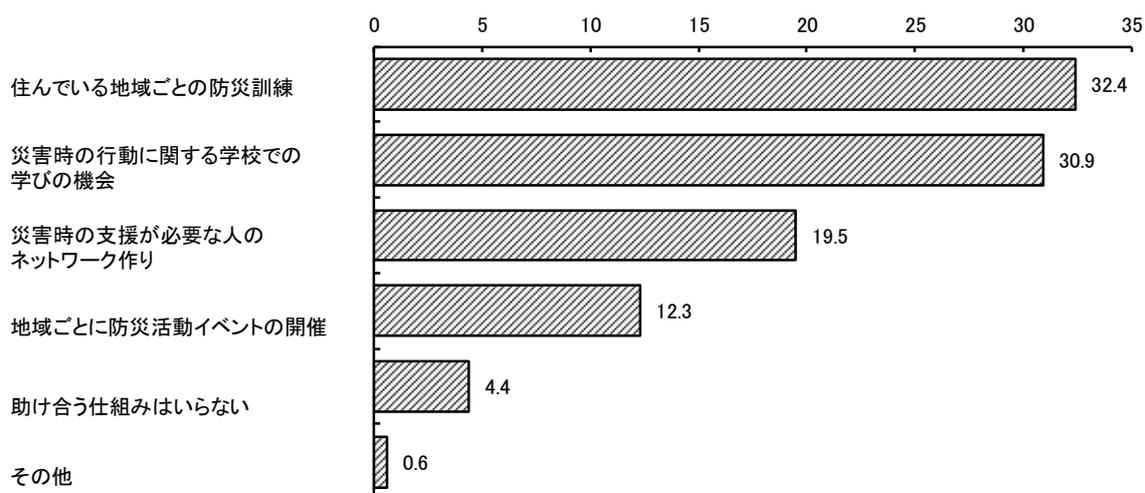
		サンプル数										
			高齢者	身体障害者	傷病者	乳幼児	妊産婦	外国人	認知症患者	いない	わからない	その他
全 体		4667 100.0	2242 48.0	628 13.5	340 7.3	840 18.0	436 9.3	336 7.2	379 8.1	627 13.4	1440 30.9	23 0.5
性別	男性	2434 100.0	1137 46.7	338 13.9	187 7.7	372 15.3	220 9.0	163 6.7	190 7.8	367 15.1	758 31.1	12 0.5
	女性	2082 100.0	1043 50.1	267 12.8	143 6.9	446 21.4	206 9.9	160 7.7	176 8.5	244 11.7	620 29.8	11 0.5
学年	中学生	2919 100.0	1363 46.7	399 13.7	239 8.2	564 19.3	289 9.9	204 7.0	250 8.6	377 12.9	956 32.8	16 0.5
	高校生	1748 100.0	879 50.3	229 13.1	101 5.8	276 15.8	147 8.4	132 7.6	129 7.4	250 14.3	484 27.7	7 0.4
住まい	柏市	3531 100.0	1645 46.6	478 13.5	275 7.8	652 18.5	341 9.7	248 7.0	289 8.2	475 13.5	1134 32.1	19 0.5
	柏市外	1136 100.0	597 52.6	150 13.2	65 5.7	188 16.5	95 8.4	88 7.7	90 7.9	152 13.4	306 26.9	4 0.4

2. 災害時に地域で助け合うために必要だと思う取り組み

問) 上記のような、災害時の支援が必要な人を、地域で助け合う仕組みを作るためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 災害時に支援が必要そうな人を助け合えるようにする取り組みはどんなものかを聞くと、「住んでいる地域ごとの防災訓練」(32.4%)が最も多く、次いで「災害時の行動に関する学校での学びの機会」(30.9%)がつづく。
- 属性別では、「中学生」の方が「高校生」よりも「住んでいる地域ごとの防災訓練」をあげる割合が高くなっている(35.2%>27.6%)。

<N=4667>



【属性別】

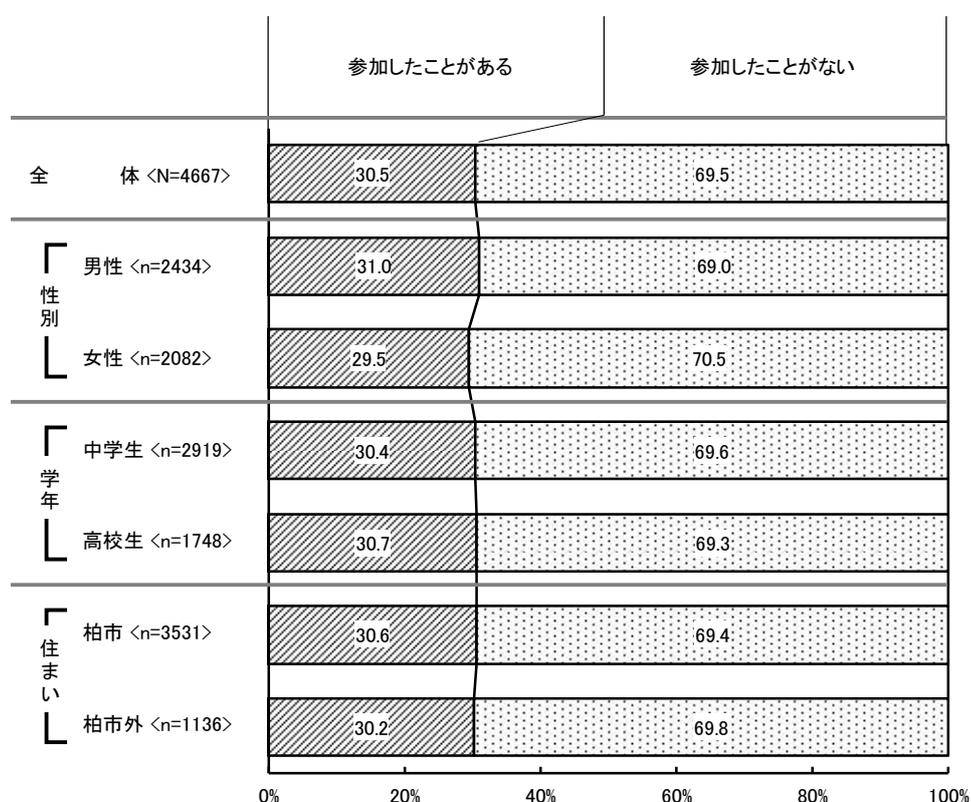
		サンプル数						その他
			災害時の行動に関する学校での学びの機会	住んでいる地域ごとの防災訓練	災害時の支援が必要な人のネットワーク作り	地域ごとに防災活動イベントの開催	助け合う仕組みは	
全 体		4667 100.0	1440 30.9	1510 32.4	912 19.5	574 12.3	205 4.4	26 0.6
性別	男性	2434 100.0	754 31.0	765 31.4	461 18.9	304 12.5	134 5.5	16 0.7
	女性	2082 100.0	644 30.9	712 34.2	410 19.7	251 12.1	57 2.7	8 0.4
学年	中学生	2919 100.0	858 29.4	1028 35.2	531 18.2	373 12.8	110 3.8	19 0.7
	高校生	1748 100.0	582 33.3	482 27.6	381 21.8	201 11.5	95 5.4	7 0.4
住まい	柏市	3531 100.0	1091 30.9	1179 33.4	658 18.6	433 12.3	149 4.2	21 0.6
	柏市外	1136 100.0	349 30.7	331 29.1	254 22.4	141 12.4	56 4.9	5 0.4

V ボランティア活動について

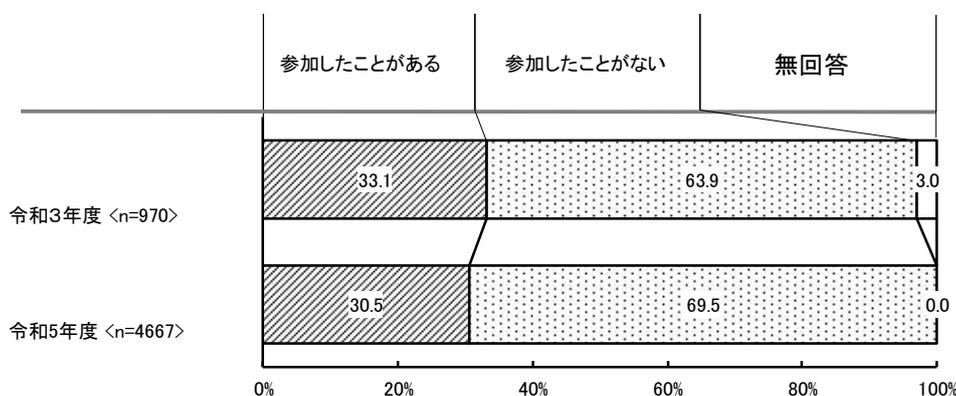
1. ボランティア活動への参加経験

問) 学校以外でのボランティア活動や福祉活動に参加したことがありますか。

- 次に、ボランティア活動（地域福祉活動）への参加経験を聞くと、「参加したことがある」のは3割程度（30.5%）。
- 属性別にみてもそれぞれ同様の傾向である。
- 前回調査と比較しても、「参加したことがある」割合は2.6ポイントの差で、ほとんど変化はない（33.1%>30.5%）。



【前回調査結果との比較】

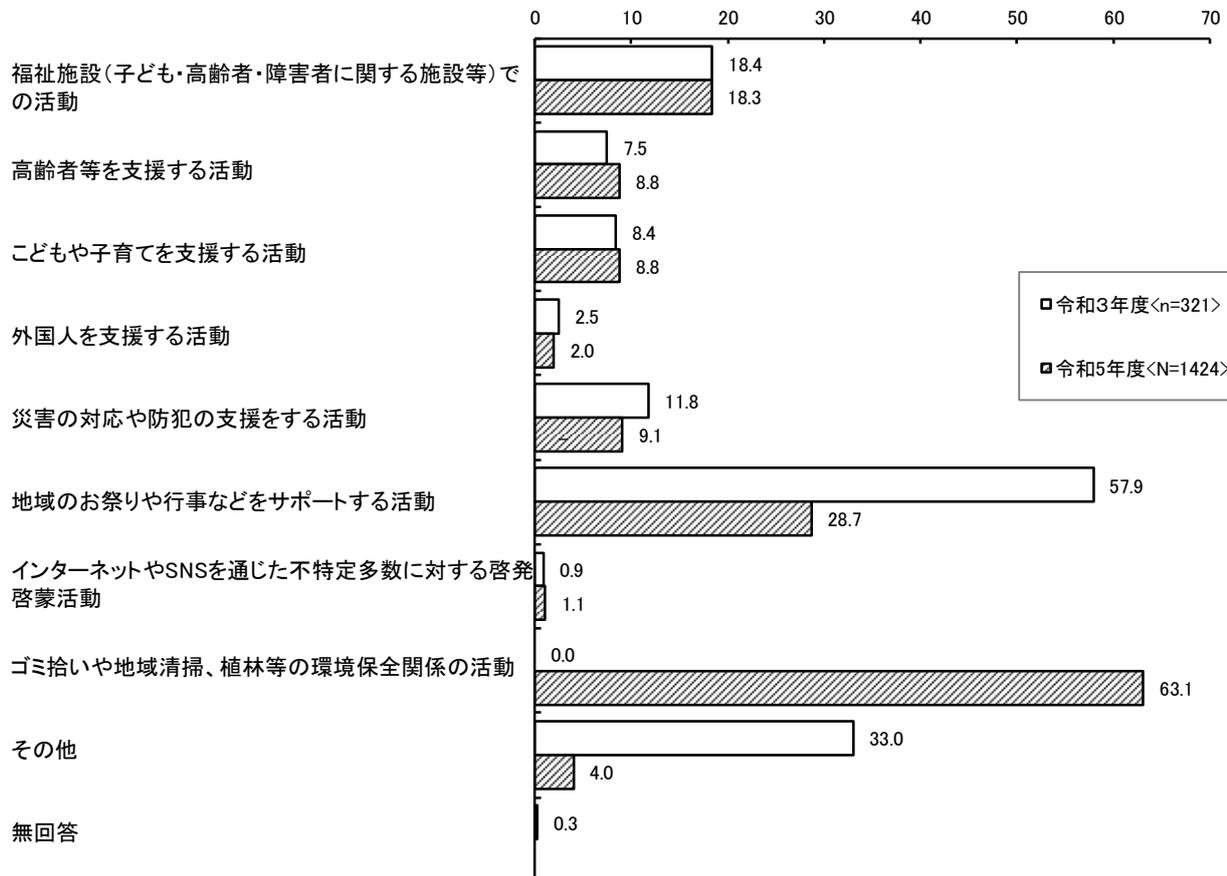


2. 参加したことがあるボランティア活動

問) ボランティア活動に「参加したことがある」と回答した方に伺います。参加したことがある活動を全てお選びください。(複数回答)

- ボランティア活動に参加したことがある人に対して、参加した活動内容を聞くと、「ゴミ拾いや地域清掃等、環境保全関係の活動」が突出して多い(63.1%)。
- 上記「環境保全関係の活動」は、「中学生」の方が「高校生」よりも10ポイント以上高くあげている(67.1%>56.5%)。
- 参加したことがある活動の内容を前回調査結果と比較してみると、「地域のお祭りや行事などをサポートする活動」の割合が30ポイントも低くなっているのが目立っている(57.9%>28.7%)。その他の項目は前回とほぼ同様の傾向を示している。
-

【全体/前回調査結果との比較】

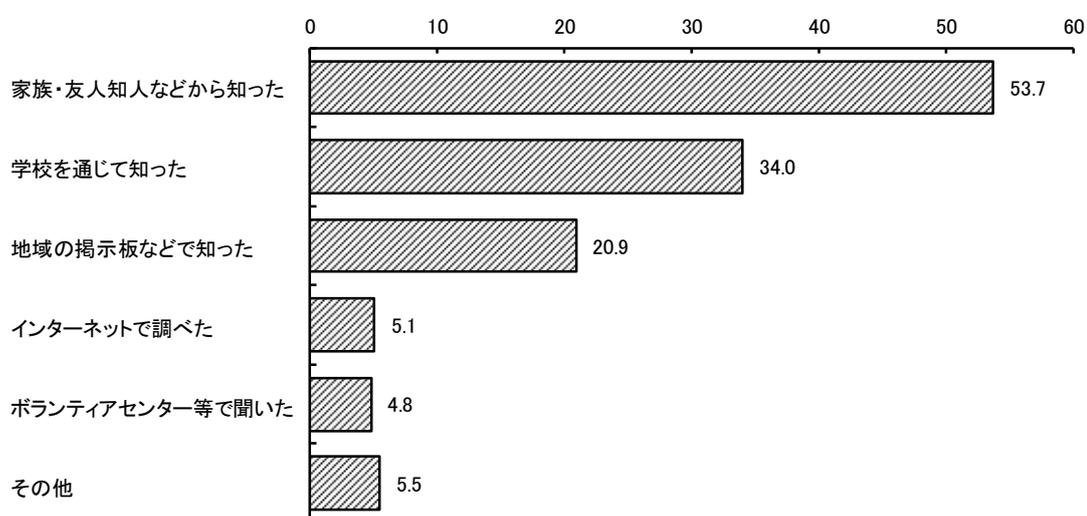


3. ボランティア活動に関する情報源

問) ボランティア活動に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。活動に関する情報はどのように知りましたか。

- 前問のボランティア活動を知ったきっかけについては、「家族・友人知人などから知った」という回答が最も多く（53.7%）、次いで「学校を通じて知った」（34.0%）、「地域の掲示板などで知った」（20.9%）などがつづく。
- 学年別にみると、「学校を通じて知った」は「中学生」よりも「高校生」が多くあげている（28.0%<43.8%）。一方で、「家族・友人知人などから知った」は「中学生」の方が「高校生」よりも多く回答している（61.3%>41.0%）。

<N=1424>



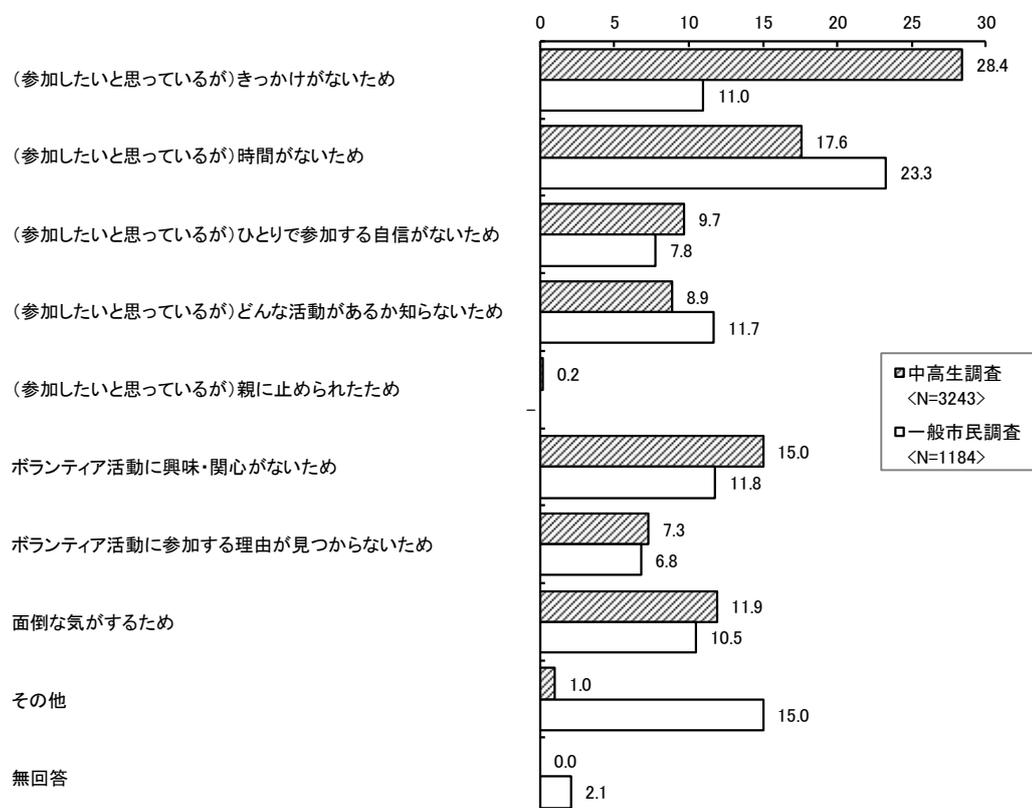
【属性別】

		サンプル数	情報源					その他
			学校を通じて知った	ボランティアセンター等で聞いた	地域の掲示板などで知った	インターネットで調べた	家族・友人知人などから知った	
全 体		1424	484	69	297	72	764	78
		100.0	34.0	4.8	20.9	5.1	53.7	5.5
性別	男性	755	261	38	134	48	383	47
		100.0	34.6	5.0	17.7	6.4	50.7	6.2
	女性	615	205	27	149	20	350	30
		100.0	33.3	4.4	24.2	3.3	56.9	4.9
学年	中学生	888	249	41	205	50	544	46
		100.0	28.0	4.6	23.1	5.6	61.3	5.2
	高校生	536	235	28	92	22	220	32
		100.0	43.8	5.2	17.2	4.1	41.0	6.0
住まい	柏市	1081	341	55	238	58	619	53
		100.0	31.5	5.1	22.0	5.4	57.3	4.9
	柏市外	343	143	14	59	14	145	25
		100.0	41.7	4.1	17.2	4.1	42.3	7.3

4. ボランティア活動に参加したことがない理由

問) ボランティア活動に「参加したことがない」と回答した方に伺います。それはどのような理由からですか。

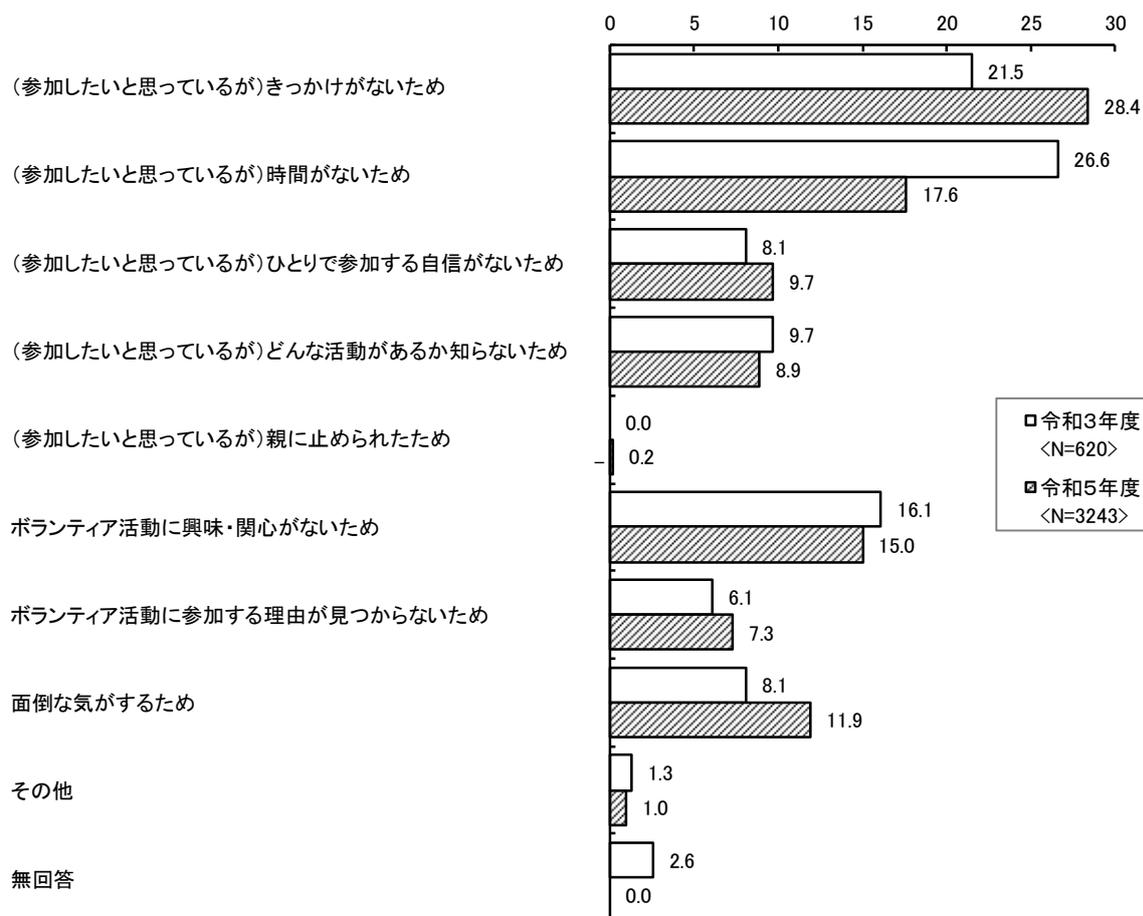
- ボランティア活動に参加したことがない人に対して、その理由を聞くと、「きっかけがないため」という意見が最も多く (28.4%)、「時間がないため」(17.6%)、「ボランティア活動に興味・関心がないため」(15.0%) とつづく。
- 現状ではボランティア活動に参加したことがなくても、「参加したいと思っはいる」(64.8%) と過半数を超えており、ボランティア活動そのものに対するネガティブな感情はあまりないことがうかがえる。
- 属性別では大きな差は出ていないが、「中学生」よりも「高校生」の方が「時間がないため」をあげる割合がやや多い (15.2% < 21.6%)。
- 同設問を一般市民調査の結果と比較してみると、「きっかけがないため」という回答において両者に差が出ており、中高生調査では 28.4% と 3 割近くいたのに対して、一般市民調査では 11.0% であった。一般市民調査で多かったその他の内訳は、自身の病気による体調面や、生活に余裕がないなど経済面由があげられている。
- 同設問を前回調査結果と比べてみると、「時間がないため」と回答した割合が前回より 9 ポイント低くなっている (26.6% > 17.6%)。対して、「きっかけがない」と回答した割合は、前回より 6.9 ポイント高くなっている (21.5% < 28.4%)。



【属性別】

		サンプル数	(参加したいと思っているが)きっかけがないため	(参加したいと思っているが)時間がないため	(参加したいと思っているが)ひとりで参加する自信がないため	(参加したいと思っているが)どんな活動があるか知らないため	(参加したいと思っているが)親に止められたため	ボランティア活動に興味・関心がないため	ボランティア活動に参加する理由が見つからないため	面倒な気がするため	その他
全 体		3243	922	570	313	289	7	486	238	386	32
		100.0	28.4	17.6	9.7	8.9	0.2	15.0	7.3	11.9	1.0
性別	男性	1679	444	291	129	131	2	271	134	260	17
		100.0	26.4	17.3	7.7	7.8	0.1	16.1	8.0	15.5	1.0
	女性	1467	457	264	177	151	4	196	95	108	15
		100.0	31.2	18.0	12.1	10.3	0.3	13.4	6.5	7.4	1.0
学年	中学生	2031	557	308	216	209	6	310	161	239	25
		100.0	27.4	15.2	10.6	10.3	0.3	15.3	7.9	11.8	1.2
	高校生	1212	365	262	97	80	1	176	77	147	7
		100.0	30.1	21.6	8.0	6.6	0.1	14.5	6.4	12.1	0.6
住まい	柏市	2450	682	382	260	240	5	372	188	294	27
		100.0	27.8	15.6	10.6	9.8	0.2	15.2	7.7	12.0	1.1
	柏市外	793	240	188	53	49	2	114	50	92	5
		100.0	30.3	23.7	6.7	6.2	0.3	14.4	6.3	11.6	0.6

【前回調査との比較】



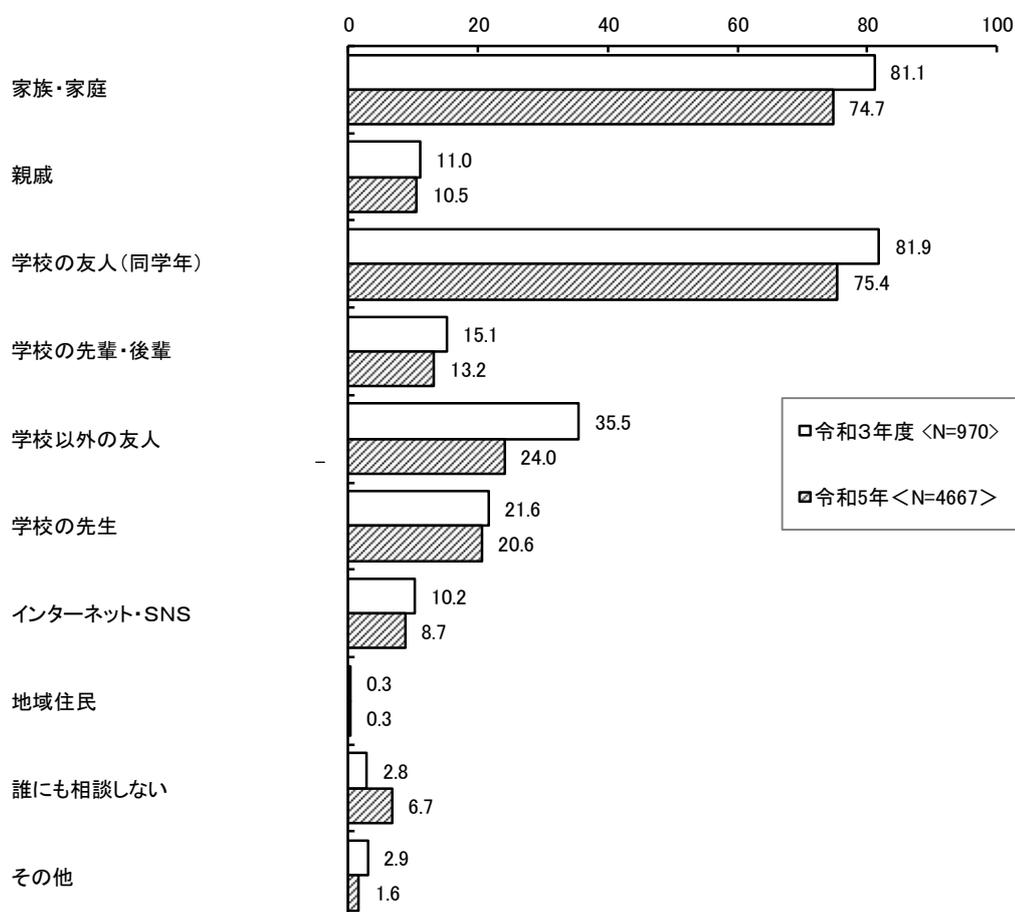
VI 居場所や相談場所について

1. 悩んだ時の相談先

問) あなたが悩んだ時に相談する場所(人)はどこ(誰)ですか。(上位3つ選択)

- 悩んだ時に相談する場所や人について聞くと、「学校の友人」(75.4%)と「家族・家庭」(74.7%)の2項目が突出して多くあげられている。
- 相談先として最も少なかったのは「地域住民」で0.3%、次いで「誰にも相談しない」が6.7%だった。
- 学年別にみると、「中学生」よりも「高校生」の方が「学校以外の友人」をあげる割合が高く(16.1%<37.2%)、一方で「中学生」の方が「高校生」よりも「学校の先生」をあげる割合が高い(25.1%>13.1%)。
- 相談先について前回調査結果と比較すると、全体的に前回より回答の割合が低くなっており、特に「誰にも相談しない」という回答が20ポイント以上大きく下がっているのが目立つ(28.4%>6.7%)。また、「学校以外の友人」についても他の項目より割合の差が大きい(35.5%>24.0%)。

【全体／前回調査との比較】



【属性別】

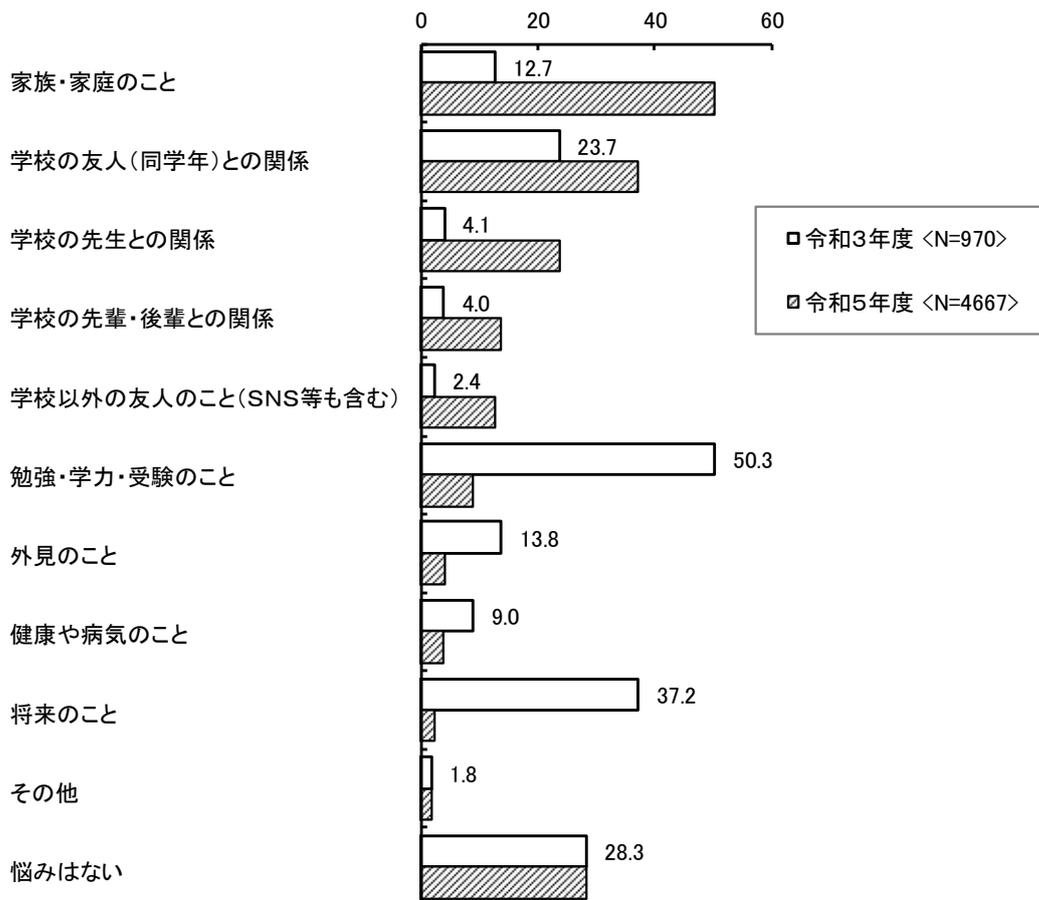
		サンプル数										
			家族・家庭	親戚	学校の友人 (同学年)	学校の先 輩・後輩	学校以外の 友人	学校の先生	インター ネット SNS	地域住民	誰にも相談 しない	その他
全 体		4667 100.0	3487 74.7	488 10.5	3520 75.4	618 13.2	1121 24.0	961 20.6	408 8.7	16 0.3	311 6.7	75 1.6
性別	男性	2434 100.0	1815 74.6	274 11.3	1808 74.3	322 13.2	585 24.0	564 23.2	180 7.4	11 0.5	160 6.6	35 1.4
	女性	2082 100.0	1598 76.8	199 9.6	1636 78.6	282 13.5	505 24.3	376 18.1	197 9.5	5 0.2	123 5.9	34 1.6
学年	中学生	2919 100.0	2210 75.7	329 11.3	2250 77.1	361 12.4	471 16.1	732 25.1	256 8.8	9 0.3	207 7.1	35 1.2
	高校生	1748 100.0	1277 73.1	159 9.1	1270 72.7	257 14.7	650 37.2	229 13.1	152 8.7	7 0.4	104 5.9	40 2.3
住まい	柏市	3531 100.0	2659 75.3	389 11.0	2678 75.8	433 12.3	699 19.8	812 23.0	318 9.0	14 0.4	244 6.9	54 1.5
	柏市外	1136 100.0	828 72.9	99 8.7	842 74.1	185 16.3	422 37.1	149 13.1	90 7.9	2 0.2	67 5.9	21 1.8

2. 過去・現在における悩み

問) 悩み(課題)はありますか(ありましたか)。(上位3つ選択)

- 過去や現在において悩みがあるかどうかを聞くと、「勉強・学力・受験のこと」がトップで50.3%と半数の人があげている。次いで「将来のこと」(37.2%)、「学校の友人(同学年)との関係」(23.7%)とつづく。一方で「悩みはない」という人も3割弱みられた(28.3%)。
- 性別にみると、男女間において「学校の友人(同学年)との関係」(17.2%<30.8%)、「勉強・学力・受験のこと」(45.3%<56.8%)、「外見のこと」(8.8%<18.9%)といった項目で10ポイント以上女性の方が高くあげている。対して、「悩みはない」という項目では10ポイント弱男性の方が高くなっている。
- 前回調査結果と比較すると、共通する項目における割合の順位は似た傾向であるが、「勉強・学力・受験のこと」においては23.3ポイント(73.6%>50.3%)低く、「悩みはない」は21.4ポイント(6.9%<28.3%)高いなど、割合の差が大きい。

【全体／前回調査との比較】



問) あなたが、地域の中で必要と感じている居場所はどのような場所ですか。
(必要としている場所があれば御入力ください)

- 回答結果からは、居場所として求められる共通の要素には、安心感やリラックスできる環境が挙げられる。
- その上で、自分の時間を確保できるプライベート空間としては、屋内の自習室や自分の部屋、トイレなど挙げられており、オープン空間のニーズとしては、友人との交流や地域の人々との繋がりを築く機会が存在する。これは自宅や友人の家から始まり、カフェや公園、バスケットコートなどに屋外にも広がる。また屋外スペースにおいても、「大きい」「広い」といった要件が付帯しており、ゆとりあるオープンスペースへのニーズがあることがうかがえる。

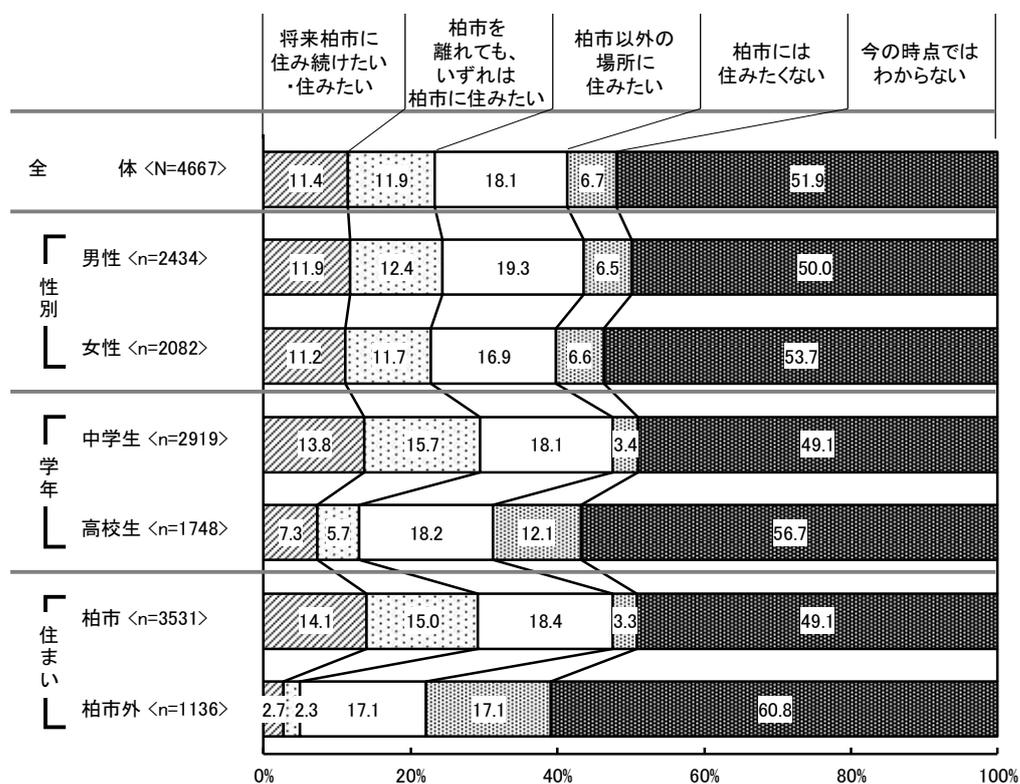
	屋内	屋外
プライベート空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人になれる場所 ・ 自習室 ・ 自分の部屋 ・ トイレ ・ 相談室(話を聞いてくれる人がいる場所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園(ベンチ)
オープン空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅、友達の家 ・ フリースペース、勉強ができる空間 ・ お店(ショッピングモール、スーパー、コンビニ、カラオケ、ショップ、カフェ、ゲームセンター、映画館等) ・ 図書館 ・ ジム、ダンススタジオ ・ バイト先 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンド ・ 公園(スポーツができる、大きい・広い公園) ・ バスケットコート ・ 柏駅(駅周辺)
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが繋がれたり、交流できたり、遊べたり、気軽に行ける場所 ・ 地域の人と関われる場所 ・ ゆっくりできる空間、リラックスできる場所 ・ 安心できる場所 	

VII 相互理解・共生について

1. 将来の柏市での居留意向

問) あなたは大人になっても柏市に住み続けたいですか。
 ※柏市に住んでいない人は、大人になって柏市に住みたいですか。

- 将来柏市に住みたいかどうかについては、「今の時点ではわからない」とする意見が最も多く半数以上を占めた(51.9%)。「将来柏市に住み続けたい・住みたい」と「柏市を離れても、いずれは柏市に住みたい」を足した、「将来柏市に住みたい」という割合は23.3%と、全体の4分の1弱。
- 属性別にみると、「将来柏市に住みたい」割合は中学生の方が高校生より高い(29.5% > 13.0%)。

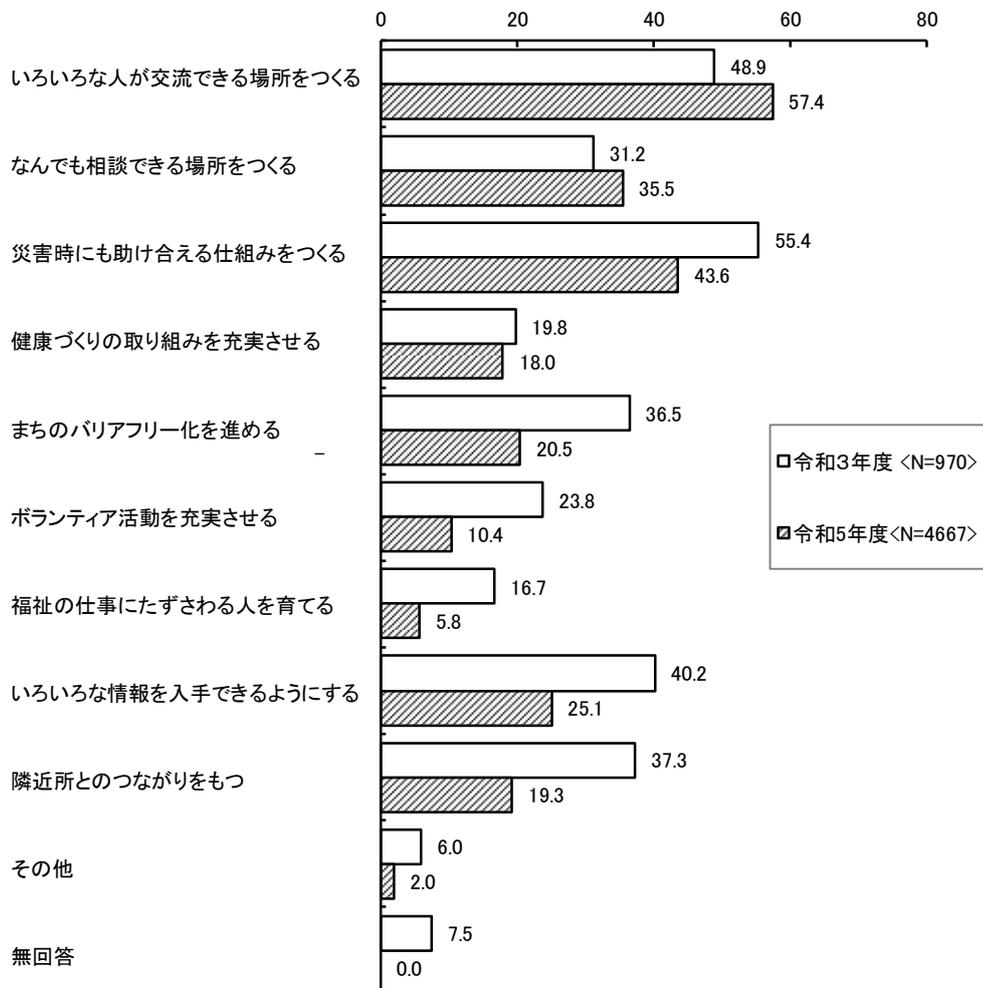


2. 安心して生活するために重要だと思うもの

問) 住みやすいまちで安心して生活するために、何が重要だと思いますか。(上位3つ選択)

- 安心して生活するために重要だと思う項目をあげてもらくと、「いろいろな人が交流できる場所をつくる」(57.4%)が最も多くあげられている。次いで「災害時にも助け合える仕組みをつくる」、「なんでも相談できる場所をつくる」、「いろいろな情報を入手できるようにする」などがつく。
- 属性別ではあまり目立った差は出ていない。
- 前回調査と比較すると、前回に比べて全体的にあげられる割合が低くなっている中、「いろいろな人が交流できる場所をつくる」(48.9%<57.4%)、「なんでも相談できる場所をつくる」(31.2%<35.5%)の2項目のみが前回より割合が高くなっている。

【全体／前回調査との比較】



Ⅷ 安心して生活するために重要だと思うもの（自由記述）

1. 自由記述の設問・回答数

問)「みんなが安心して安全に暮らせるまちづくり」のためにはどのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えや意見を自由にお書きください。

本アンケートは、「安心安全に暮らせるまちづくり」に関し、学生の考えや意見を自由記述方式で尋ねたところ、自由記述回答数 1, 918 件（有効回収数に占める回答率41.9%）の回答があった。

2. 分析方法

分析方法は、自由記述回答の特徴を把握するため、形態素解析(*1)の手法を用いて基礎分析を行い、頻出ワードの抽出を行った。また、基礎分析で抽出された頻出ワードが、調査項目の5つのカテゴリー①地域との関わり、②地域防災、③ボランティア活動、④居場所や相談場所、⑤相互理解・共生の視点で見た場合、どのような視点で述べられているのか傾向を把握するために、質的データ分析補助ソフト MAXQDA を用いて整理・分析を行った。

*1：文章を言語上で意味を持つ最小単位に分け、それぞれの品詞や変化などを判別すること。

*2：形態素解析で処理された頻出語や特徴語を抽出し可視化したもの。

3. 基礎分析（頻出ワード抽出）

市民のみなさんの考えや意見として記載された内容を形態素解析し、ワードクラウドで表示するとともに、その中から使用された頻出回数が多いワードの上位 30 を整理した。

順位	頻出ワード	出現回数	自由記述内のワード出現割合	順位	頻出ワード	出現回数	自由記述内のワード出現割合
1	人	568	29.6%	16	街	97	5.1%
2	地域	305	15.9%	17	助け合える	95	5.0%
3	思う	213	11.1%	18	者	86	4.5%
4	必要	193	10.1%	19	助け合い	81	4.2%
5	交流	190	9.9%	20	関係	79	4.1%
6	災害	175	9.1%	21	相談	73	3.8%
7	近所	168	8.8%	22	犯罪	72	3.8%
7	思い	168	8.8%	23	ボランティア	71	3.7%
9	協力	150	7.8%	24	関わり	70	3.6%
10	場所	145	7.6%	24	大切	70	3.6%
11	安心	112	5.8%	26	活動	68	3.5%
12	時	111	5.8%	27	防災	64	3.3%
13	安全	104	5.4%	28	避難	63	3.3%
14	環境	103	5.4%	29	訓練	61	3.2%
15	作る	99	5.2%	29	訓練	61	3.2%

補足 1：31 位以降のワードは頻出回数が少なく、内容が拡散することから、掲出するのは上位 30 位までにとどめている。

補足 2：回数の数え方は、当該単語が出現したことをもって 1 回としており、同一回答者の発言の中で繰り返し使用されている単語があった場合、複数回数える方法でおこなっている。

(2)詳細分析

基礎分析で抽出された頻出ワード上位30のうち、動詞に分類される単語は「思う」「助け合る」である。地域の健康・福祉に関する視点から、これらの2つのワードがどのような意見や考えとして使用されているか、詳細分析を行った。最も多く使われていた内容は「地域との関わり」に関する意見であり、続いて「地域活動」が多いという結果となった。

		件数	回答割合
1)	地域との関わり	910	47.4%
2)	地域防災	170	8.9%
3)	ボランティア活動	72	3.8%
4)	居場所や相談場所	106	5.5%
5)	相互理解・共生	134	7.0%
6)	その他（広報啓発）	45	2.3%
7)	その他（広報啓発以外）	439	22.9%

1) 地域との関わりに関する主な意見

●挨拶・顔の見える関係

- ・ 地域の人々とのつながりや助け合いを大切にして困った時に助け合えるようにする。特に乳幼児や高齢者がいる家庭などが安全に生活できるように心がける。
- ・ 隣近所との横のつながりを強くすること

●地域内での交流の場や機会の創出

- ・ 普段から笑顔のあるまちは安心して暮らせると思うので、お祭りや大会などを開催して、みんなが笑顔でいられる環境づくりが大切だと思う。
- ・ いろいろな趣味や好きなことで色々な人と繋がれるように、様々なイベントの開催や、施設の創設をすることが大事だと思います。

2) 地域防災に関する主な意見

●防災訓練

- ・ 防災訓練をしたり、みんなと認識を持つことで助け合えると思う。交流と学びが同時にできる訓練がいい。
- ・ 防災訓練などが体験できる施設などをつくるといいと思う。

●地域防災の意識づくり

- ・ 自分の地域が具体的にどのような防災、防犯活動をしているのか明確する。
sns で、防災についてや、まちづくりの情報発信が必要だと思う。
- ・ 人と人が交流する場を増やしたり、防災が起きたときにすぐ避難できるような対策を地域の人達で共有できるようにしたら、みんなが安心して安全に暮らせると思う。

3) ボランティア活動に関する主な意見

●誰もが気軽に参加できる環境

- ・ 月一回程度でいろんなボランティア活動ができる親切なまちにする。
- ・ 柏市に住んでる人が簡単にできること、ボランティアをやるのが大切だと思う。ボランティアなどに参加しやすい環境を作る。

●ボランティア活動の充実

- ・ もっともっとボランティア活動を増やしてほしい。そのボランティア活動を始めとして、地域の人と仲良くなり、もしものときには助け合える関係に繋がっていく。
- ・ 安全、安心に暮らすために、今後のボランティア活動など地域の方一人一人が分かっている必要があると思う。

4) 居場所や相談場所に関する主な意見

●身近で気がるに行ける場所

- ・ 誰でも相談できるスポットを作ったり、みんなが行きやすいように設備したりする。学生も進路のこととか、交流と相談できる場所があったら、もっと安心して暮らせると思う。
- ・ 公園や児童館など、安全でかつ友達と集まりやすい環境があるとより良い。

●相談できる関係づくり

- ・ 挨拶をもっと広め穏やかな人間関係をつくる。
- ・ 近所の人同士で、悩んでいることや困っていることをためらわずに相談する。

5) 地域共生活動に関する主な考えや意見

●助け合い・支え合い

- ・ 地域の人との交流を深め、お互いに信頼関係を作っていくことが必要だと思う。
- ・ お年寄りや障がいを持っている人が他の人に気をつかわせないような仕組みが必要。

●支援が必要な方への配慮

- ・ 犯罪を犯してしまった人でも更生すれば受け入れてくれる社会。(リスクが大きい再犯率が減る。)
- ・ お互いの違いを知って認め合う力を育てる機会を設けること。

6) その他

●情報発信と情報の入手先の確保

- ・ 正しい情報を早く手に入れられる仕組みが必要。危険が起きたときにどこで何が起きたのか可視化できるようにする仕組み。
- ・ 情報源があることが1番大きいと思います。情報を保持しているだけでも自分の地域にどんな施設があってどのような催しがされているのかを把握できます。

●その他

- ・ 歩道や車道を整備するなど、事故を減らすための取り組みをすること。
- ・ 優しさを持って助け合える環境をつくること。
- ・ 喧嘩やいじめがない学校、地域にしたい。
- ・ 文化を残していきながら、新しい取り組みにも取り組んでいってほしい。

Ⅹ アンケート調査票

	設問	回答形式	選択肢
1	あなたの性別を教えてください	1つ選択	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
2	あなたの学年を教えてください	1つ選択	1. 中学1年生 2. 中学2年生 3. 中学3年生 4. 高校1年生 5. 高校2年生 6. 高校3年生
3	あなたの住んでいるところを教えてください。（柏市以外にお住まいの場合は「その他」選択し、お住まいの市区町を御記入ください）	1つ選択	1. 生まれてからずっと柏市在住 2. 途中で柏市に引越してきた 3. 柏市外在住（市・区・町）
4	あなたが今、興味・関心があることは何ですか。	自由記述	自由記述
5	あなたが普段から重視しているコミュニティ（人とのつながり）は何ですか。優先順位の高いもの3つまでお選びください。	上位3つ選択	1. 家族・家庭 2. 親戚 3. 学校（友人・先生・部活動） 4. 学校外のクラブ活動・習い事・趣味の活動 5. 近所の幼馴染 6. アルバイト先 7. インターネット・SNS 8. お住まいの場所を中心とした近隣エリアを含む地域の住民 9. 地域活動（ボランティア） 10. その他（ ）
6	Q5で回答したもの以外で、今後、新たに繋がりたいと思うコミュニティは何ですか。	1つ選択	1. 家族・家庭 2. 親戚 3. 学校（友人・先生・部活動） 4. 学校外のクラブ活動・習い事・趣味の活動 5. 近所の幼馴染 6. アルバイト先 7. インターネット・SNS 8. お住まいの場所を中心とした近隣エリアを含む地域の住民 9. 地域活動（ボランティア） 10. 特になし 11. その他（ ）
7	あなたは、普段は近所の方とどのような付き合い方をしていますか。	1つ選択	1. 仲の良い人とよく行き来している 2. 会えば親しく話をする人がいる 3. あいさつ程度がほとんど 4. 近所付き合いはほとんどしていない
8	今後、近所の方とどのような付き合いをしたいですか	1つ選択	1. 仲の良い人とよく行き来する関係 2. 会えば親しく話をする関係 3. あいさつ程度の関係 4. 近所付き合いはあまりしたくない

9	あなたは、普段の暮らしの中で、地域の支え合いや関わりが必要だと思いますか。	1つ 選択	1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない 3. わからない
10	あなたの近所に高齢者や障害、病気などで生活の困りごとを抱え、日常的な支援が必要な人はいますか。	1つ 選択	1. いる 2. いない 3. わからない・知らない
11	災害が発生した際に、一人では避難が難しい人として、あなたの近所に次のような気に掛かる人（支援が必要そうな人）はいますか。当てはまる人を全てお選びください。	全て 選択	1. 高齢者 2. 身体障害者 3. 傷病者 4. 乳幼児 5. 妊産婦 6. 外国人 7. 認知症患者 8. いない 9. わからない 10. その他
12	上記のような災害時の支援が必要な人を、地域で助け合う仕組みを作るためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。	1つ 選択	1. 災害時の行動に関する学校での学びの機会 2. 住んでいる地域ごとの防災訓練 3. 災害時の支援が必要な人のネットワーク作り 4. 地域ごとに防災活動イベントの開催 5. 助け合う仕組みは知らない 6. その他（ ）
13	学校以外でのボランティア活動や福祉活動に参加したことがありますか。	1つ 選択	1. 参加したことがある（→問14、問15へ） 2. 参加したことがない（→問16へ）
14	Q13でボランティア活動に「参加したことがある」と回答した方に伺います。参加したことがある活動を全てお選びください。	全て 選択	1. 福祉施設（子ども・高齢者・障害者に関する施設等）での活動 2. 高齢者等を支援する活動 3. こどもや子育てを支援する活動 4. 外国人を支援する活動 5. 災害の対応や防犯の支援をする活動 6. 地域のお祭りや行事などをサポートする活動 7. インターネットやSNSを通じた不特定多数に対する啓発・啓蒙活動 8. ゴミ拾いや地域清掃、植林等の環境保全関係の活動 9. その他（ ）
15	Q14で回答した活動に関する情報はどのように知りましたか。当てはまるものを全てお選びください。	全て 選択	1. 学校を通じて知った 2. ボランティアセンター等で聞いた 3. 地域の掲示板などで知った 4. インターネットで調べた 5. 家族・友人知人などから知った 6. その他
16	Q13でボランティア活動に「参加したことがない」と回答した方に伺います。それはどのような理由からですか。	1つ 選択	1. （参加したいと思っているが）きっかけがないため 2. （参加したいと思っているが）時間がないため 3. （参加したいと思っているが）ひとりで参加する自信がないため 4. （参加したいと思っているが）どのようなボランティア活動があるか知らないため 5. （参加したいと思っているが）親に止められたため 6. ボランティア活動に興味・関心がないため 7. ボランティア活動に参加する理由が見つからないため 8. 面倒な気がするため 9. その他（ ）

17	あなたが悩んだ時に相談する場所（人）はどこ（誰）ですか。優先順位の高いもの3つまでお選びください。	上位3つを選択	<ul style="list-style-type: none"> 1. 家族・家庭 2. 親戚 3. 学校の友人（同学年） 4. 学校の先輩・後輩 5. 学校以外の友人 6. 学校の先生 7. インターネット・SNS 8. 地域住民 9. 誰にも相談しない 10. その他（ ）
18	悩み（課題）はありますか（ありましたか）。優先順位の高いもの3つまでお選びください。	上位3つを選択	<ul style="list-style-type: none"> 1. 家族・家庭のこと 2. 学校の友人との関係 3. 学校の先生との関係 4. 学校の先輩・後輩との関係 5. 学校以外の友人のこと（SNS等も含む） 6. 勉強・学力・受験のこと 7. 外見のこと 8. 健康や病気のこと 9. 将来のこと 10. その他（ ） 11. 悩みはない
19	あなたが、地域の中で必要と感じている居場所はどのような場所ですか。（必要としている場所があれば御入力ください）	自由記述	
20	あなたは大人になっても柏市に住み続けたいですか。※柏市に住んでいない方は、大人になって柏市に住みたくいですか	1つ選択	<ul style="list-style-type: none"> 1. 将来柏市に住み続けたい・住みたい 2. 進学や就職などで柏市を離れても、いずれは柏市に住みたい 3. 柏市以外の場所に住みたい 4. 柏市には住みたくない 5. 今の時点ではわからない
21	住みやすいまちで安心して生活するために、何が重要だと思いますか。優先順位の高いもの3つまでお選びください。	上位3つを選択	<ul style="list-style-type: none"> 1. いろいろな人が交流できる場所をつくる 2. なんでも相談できる場所をつくる 3. 災害時にも助け合える仕組みをつくる 4. 健康づくりの取り組みを充実させる 5. まちのバリアフリーを進める 6. ボランティア活動を充実させる 7. 福祉の仕事にたずさわる人を育てる 8. いろいろな情報を入手できるようにする 9. 隣近所とのつながりをもつ 10. その他（ ）
22	「みんなが安心して安全に暮らせるまちづくり」のためにはどのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えや意見を自由にお書きください。	自由記述	

柏市地域健康福祉アンケート調査 結果報告書 〈学生〉

令和6年3月

発行：柏市役所 福祉部 福祉政策課